

全自動小型動力ポンプ付積載車  
(八潮市消防団第3分団第2部)

仕 様 書

草加八潮消防組合

全自動小型動力ポンプ付積載車	数 量	単 位	備 考
シャシ(6人乗りWキャブ・AT車・ガソリン車)	1	台	
全自動小型動力消防ポンプ (B-2級)	1	式	
車体の構造・艤装、積載品 (要固定)	1	式	
積載品 (固定不要)	1	式	

- 1 契約物品名 全自動小型動力ポンプ付積載車  
(八潮市消防団第3分団第2部)
- 2 契約台数 1台
- 3 納入期限 令和9年3月31日まで
- 4 納入場所 八潮市大字鶴ヶ曽根1185番地  
草加八潮消防組合 八潮消防署管理課
- 5 支払方法 業務完了後一括払

問合せ先

草加八潮消防組合 八潮消防署管理課

八潮市大字鶴ヶ曽根1185番地

TEL 048-996-0119

FAX 048-997-1300

# 目 次

第 1	総則	1
第 2	提出図書	1
第 3	検査	2
第 4	シャシ	2
第 5	全自動小型動力消防ポンプ	2
第 6	車体の構造・艀装、積載品（要固定）	3
第 7	積載品（固定不要）	9
第 8	塗装・記入文字	10
第 9	補則	11

## 第1 総則

- 1 この仕様書は、草加八潮消防組合（以下「組合」という。）が令和8年度に購入する全自動小型動力ポンプ付積載車（以下「本車両」という。）のシャシ、全自動小型動力消防ポンプ（以下「消防ポンプ」という。）、艀装、積載品等の性能、製造及び契約に関する必要な事項について定める。
- 2 本車両は、この仕様書に定めるもののほか、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）その他関係法令に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 3 本車両は、堅牢かつ登録された車両総重量の状態において、常時十分な耐久性を有し、艀装は、走行中にながたつき、移動、破損が発生することのないよう安全確実に固定され、積載品の着脱・積み下ろしが容易にできるよう製造されたものであること。
- 4 本車両の形状及び積載品等の位置は、概ね別添車両図面のとおりとする。
- 5 受注者は、提出図書提出前に艀装外観図について組合の承認を受けること。また、仕様書に関する疑義又は変更が生じた場合は、組合と協議すること。
- 6 この仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準仕様書のとおりとする。
- 7 保証は、メーカー公表の保証期間以降であっても、設計不良、製造不良、材質不良等に起因する不都合箇所が発生した場合には、無償で交換又は修理を行うものとする。なお、塗装部分については、納入後3年以内に著しい変色、亀裂、剥離、浮き上がり等が生じた場合には、無償で再塗装を実施すること。
- 8 契約価格には、本車両の登録手続等、納入完了までに要する費用及び更新対象車両（現3-2）の緊急自動車登録の返納に要する費用並びに更新車両と同等で組合の指定する車両（旧1-6）の廃棄に要する費用を含めること。
- 9 自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及びリサイクル料は、本契約とは別に組合に請求すること。
- 10 この仕様書に用いる用語のうち、「右」「左」「前」及び「後」は、車両中央に位置し前進行方向を向いた場合の表現とする。

## 第2 提出図書

- 1 契約完了後、落札価格の内訳明細書を提出すること。
- 2 製造に先立ち、次の図書を提出し承認を得ること。
  - (1) 製造工程表 2部
  - (2) 艀装外観図 2部
  - (3) 配管図 2部
  - (4) 配線図 2部
- 3 完成車両納入時の提出書類
  - (1) 車両及び積載品の取扱説明書 2部

(2) 緊急自動車届出確認証	1 部
(3) リサイクル券	1 部
(4) 自動車検査証	1 部
(5) 自動車損害賠償責任保険証	1 部
(6) 車両製造工程の詳細写真	1 部
(7) その他指定する書類	指定部数

### 第3 検査

- 1 製造工程において、艤装状況、積載品等について中間検査を1回以上行うものとする。
- 2 中間検査は、受注者の指定する場所（八潮消防署からの往復の時間を含め1日で実施することが可能な範囲）にて行うものとする。
- 3 受注者は、中間検査において指示事項が生じた場合、指示事項を明記した報告書を組合に提出すること。
- 4 受注者は、納入時、八潮消防署において、本仕様書に基づく完成検査を受け、その結果不合格と認めた箇所については、直ちに改修し再検査を受けなければならない。なお、回送等に係る一切の費用については受注者の負担とする。
- 5 受注者は、検査を受けようとするときは、15日前までに組合と検査日時及び場所等を協議すること。

### 第4 シャンシ

- 1 全長5, 200mm以下  
全高2, 400mm以下  
全幅1, 900mm以下  
ホイールベース2, 300mm以上
- 2 車両総重量3.5トン未満  
乗車定員6名  
安全に乗車できる座席を設けたダブルキャブ型AT（オートマチックトランスミッション）車で、全席にフロアマットを備え、予備キーは2本とする。
- 3 舵取装置は、パワーステアリングとし、電装等はメーカー標準仕様又は同等以上とする。
- 4 燃料の種類は、ガソリンとする。
- 5 車両ボディと同色の補修用塗料を納入すること。
- 6 全自動小型動力消防ポンプへの給油は、同ポンプを車両に固定した状態でも安全かつ容易に可能であること。

### 第5 全自動小型動力消防ポンプ

- 1 規格

- (1) 受託型式試験品
- (2) B-2級以上

## 2 エンジン

- (1) 直列3気筒4サイクルDOHCエンジン
- (2) 排気量は600cc以上
- (3) 検定出力30kw以上
- (4) セルモーター・リコイル始動方式
- (5) 電子制御燃料噴射システム（燃料コック、キャブレターは不要）
- (6) 潤滑は、オイルポンプによる強制潤滑方式
- (7) ポンプ本体を冷却する装置を装備していること。
- (8) 点火方式はダイレクトイグニッションシステム
- (9) 点火プラグはイリジウムプラグ
- (10) オーバーヒート防止自動停止装置を装備し、再始動後、吸水・放水することで復帰可能であること。

## 3 ポンプ本体

- (1) 高圧一段タービンポンプ
- (2) 高性能インデューサー内蔵
- (3) 放水口はループハンドル式ボールコック（クイックバルブ）
- (4) 冷却通路内に内圧逃し安全弁を装備していること。
- (5) 気水分離装置を装備していること。

## 4 真空ポンプ

- (1) 4翼偏心ロータリー無給油式
- (2) ボディはアルミ製、ブレード、サイドプレートはカーボン製

## 5 メーカー仕様のポンプ工具を納入すること。

## 第6 車体の構造・艤装、積載品（要固定）

1	ボディ	29	吸管ロープ
2	放水用配管	30	吸管枕木
3	消防ポンプ遠隔操作盤	31	消火栓開閉器具 (スピンドルドライバー)
4	ホース積載棚	32	消火栓蓋開け器具
5	旗立ポール	33	梯子
6	ボディ収納ボックス	34	鳶口
7	後方ヘルメット用フック	35	平スコップ
8	前方ヘルメット用フック A3ボックス	36	金てこ
9	LED型作業灯	37	自動車用消火器

10	散光式警光灯	38	管そう
11	補助警光灯	39	後退警報ブザー
12	拡声装置	40	タイヤ
13	ドライブレコーダー	41	車輪止め
14	団マーク章	42	ホースシート
15	デジタル無線機	43	ホースブリッジ
16	サーチライト	44	大型蛍光灯
17	消防ポンプ置台	45	座席下収納ボックス
18	ポンプ工具用ボックス	46	折りたたみステップ
19	消防ポンプ用バッテリー全自動充電器	47	手摺取手
20	車両用バッテリー全自動充電器	48	ポンプ操作灯
21	吸水ボールコック	49	車両バッテリー
22	吐水ボールコック	50	丸型消火栓蓋開け
23	消火栓取付金具	51	スタンドパイプ
24	吸水フレキホース 吐水フレキホース	52	ドア反射板
25	吸水L型エルボ金具	53	リアステップ
26	吸管・吸管スパナ	54	バックモニター
27	吸管ストレーナー	55	AM/FMラジオ
28	塵除け籠		

### 1 ボディー（1式）

ボディー左右の側板は、堅牢で十分な耐久性を有する鋼材（メーカー標準仕様）を使用し、側板の一部、両側下部ステップ、車両後部ステップ、ホース積載棚及びボディー収納ボックスの床面等の指定する場所については、アルミ縞鋼板張りとする。

### 2 放水用配管（1式）

消防ポンプを積載した状態で放水可能とする配管及び排水ドレンを備えていること。

### 3 消防ポンプ遠隔操作盤（1式）

- (1) 消防ポンプ遠隔操作盤は、ボディー左外側面の操作しやすい場所に設置すること。
- (2) 自動吸水機能を装備し、自動吸水と手動吸水の切り替えが可能であること。
- (3) 自動吸水時、吸水前にエンジン回転が低い場合は、モニターランプで表示されること。
- (4) 落水時、エンジン回転が高い場合は、再放水せず、警告ランプが表示され、

- エンジンが自動停止すること。
- (5) ダンパー付きゲージ（圧力計）を取り付けること。
  - (6) 圧力計・連成計は文字盤背面からライトアップされること。
  - (7) モニターはLEDを使用し、異常時に点滅すること。
  - (8) 電源スイッチの切り忘れによるバッテリー消費を防止するオートパワーオフ機能を装備していること。
  - (9) LED製ポンプ操作灯を設置すること。
- 4 ホース積載棚（1式）

ボディ前方上部にホース積載棚を設け、ホースの保護及び落下防止のため、ステンレス製のガードパイプを取り付けること。
  - 5 旗立ポール（1式）

ボディ前方左側ホース積載棚の角に旗立ポールを取り付け、旗棒止めは蝶ネジ式とし、材質はステンレス製とすること。
  - 6 ボディ収納ボックス（1式）

ホース積載棚の下部に、ボディ収納ボックスを設け、左右両側面に扉を設けること。
  - 7 後方ヘルメット用フック（1式）

キャブ内後面上部にパイプを設け、ヘルメット用フックを6個取り付けること。（いずれもステンレス製とする。）
  - 8 前方ヘルメット用フック・A3ボックス（1式）

キャブ内後部座席前方に手摺パイプを設け、ヘルメット用フックを6個取り付け、中央部に書類や地図等を入れるボックス（A3サイズ）を設けること。（いずれもステンレス製とする。）
  - 9 LED型作業灯（3個）

ボディ内側前面中央及びボディ内側後方両側面に各1箇所、消防ポンプの点検用にLED型作業灯を取り付け、スイッチはボディ後面に取り付けること。（協議事項）
  - 10 散光式警光灯（1式）

モーターサイレン（5SAを内蔵）付き散光式警光灯（NP-ML-VK2M-A又は同等品以上）をキャブ屋根外側面の前方中央に、「台座付け」で雨水漏れ防止措置を講じ、密着して取り付けること。
  - 11 補助警光灯（4個）

補助警光灯（LFA-50S又は同等品以上）をボディ後面外側に上下左右均等に4箇所取り付け、うち下部の2箇所は、後部ステップ尾灯上部に埋め込み、保護カバーを取り付けること。（協議事項）
  - 12 拡声装置（1式）

サイレンのアンプ装置（TSK-D151 Mark-D1又は同等品以上）を助手席前方に取り付け、散光式警光灯に接続すること。

- 13 ドライブレコーダー（1式）  
ドライブレコーダー（車両純正品又は同等品以上）を取り付け、メモリは8GB以上とすること。
- 14 団マーク章（1個）  
団マーク章（直径150mmオールメッキ型）をフロントグリルに取り付けること。
- 15 デジタル無線機（1式）  
デジタル無線機は、更新対象車両（現3-2）から載せ替え、取付位置は、助手席前方の操作しやすい場所とすること。
- 16 サーチライト（2個）  
サーチライト（LED式作業灯27W）をボディー右側面前方及び左側面後方に設置し、各スイッチは、ライト直下の位置で操作しやすい場所に設置すること。
- 17 消防ポンプ置台（1式）  
ボディー内側床面にレール式の消防ポンプ置台を設置し、一人で引き出せる構造とすること。（協議事項）
- 18 ポンプ工具用ボックス（1式）  
蓋付きとすること。
- 19 消防ポンプ用バッテリー全自動充電器（1式）  
消防ポンプ用バッテリー全自動充電器は、雨水対策を講じ、電源コードの接続部は、容易に着脱可能なマグネット式コンセントとし、ボディー外側に設けること。また、満充電時には自動で電源が切れるものとする。こと。（取付位置は、車両図面1を参照）
- 20 車両用バッテリー全自動充電器（1式）  
車両用バッテリー全自動充電器の電源コード接続部は、容易に着脱可能なマグネット式コンセントとし、ボディー外側に設けること。また、満充電時には自動で電源が切れるものとする。こと。（取付位置は、車両図面1を参照）
- 21 吸水ボールコック（2個）  
ボディーの左右側面に吸水ボールコック（75mm）を設置すること。
- 22 吐水ボールコック（2個）  
ボディーの左右側面に吐水ボールコック（65mm）を設置し、吐水口媒介金具は、左右ともにマルチタイプとすること。
- 23 消火栓取付金具（1式）  
バンド付き吸管消火栓金具（75mmネジ式メス×65mm町野式メス）を左側吸管に取り付けること。
- 24 吸水フレキホース・吐水フレキホース（各1本）  
吸水フレキホース（75mm）及び吐水フレキホース（65mm）でボディーと消防ポンプを接続する構造とし、着脱が容易であること。

- 25 吸水L型エルボ金具（2個）  
吸水L型エルボ金具（75mm回栓金具付き）を左右吸水ボールコックの吸水口に取り付けること。なお、つめ金具が無く吸管スパナを使用し着脱を行うスロッター型とすること。
- 26 吸管・吸管スパナ（各2本）  
白縦ライン（反射材）入り（75mm×8m）ソフト吸管2本及び吸管スパナ2本をボディー左右外側に取り付けること。
- 27 吸管ストレーナー（1個）  
右側吸管に吸管ストレーナー（75mm）を取り付けること。
- 28 塵除け籠（1個）  
右側吸管に塵除け籠（樹脂製）を取り付けること。
- 29 吸管ロープ（1本）  
右側吸管に吸管ロープ（10mm×15mナイロン製）を取り付けること。
- 30 吸管枕木（2個）  
吸管枕木（75mmゴム製止めバンド付き）をボディーに取り付けること。
- 31 消火栓開閉器具（スピンドルドライバー）（1本）  
消火栓開閉器具（長さ1,100mm程度、ハンドル握り部450mm、四角形口径44mm、根元33mm）をボディーに取り付けること。
- 32 消火栓蓋開け器具（2個）  
消火栓蓋開け器具をボディー左右外側に取り付けること。
- 33 梯子（1台）  
アルミ製伸縮式梯子（長さ3～4m程度）をボディーに取り付けること。（協議事項）
- 34 鳶口（2本）  
全長約1.8mとし、ボディー左側上部に取り付け、口先には受箱を設けること。
- 35 平スコップ（1本）  
平スコップを取り付けること。（協議事項）
- 36 金てこ（1本）  
長さは、0.8m以上としボディーに取り付けること。（協議事項）
- 37 自動車用消火器（1本）  
自動車用消火器（ABC粉末6kg）をボディー外側面に取り付けること。（協議事項）
- 38 管そう（2本）  
管そうは、いずれも噴霧機能を備えた2本（操法用04SKPRL65A及びガンタイプノズル04XN65A又は同等品以上）とし、操法用はボディー後部内側に取り付けること。（協議事項）
- 39 後退警報ブザー（1式）

- 音声アラーム付き後退警報ブザーを取り付けること。
- 40 タイヤ（1式）  
タイヤ（スペアタイヤ含む）は、全てスタッドレスタイヤにて納入すること。
- 41 車輪止め（1式）  
ボディー右側面に取外し容易な構造で設置すること。
- 42 ホースシート（1枚）  
ホース棚部分を覆うホースシートを取り付けること。
- 43 ホースブリッジ（2個）  
ホースブリッジ（CB450又は同等品以上）をボディーの取出ししやすい場所に取り付けること。
- 44 大型蛍光灯（1式）  
LED型大型蛍光灯をキャブ内天井中央に設置すること。
- 45 座席下収納ボックス（1式）  
後部座席下を収納ボックスとすること。（協議事項）
- 46 折りたたみステップ（4個）  
ホース棚の積み下ろし作業用ステップを、ボディー左右に設置すること。
- 47 手摺取手（2個）  
左右後部ドア後方に手摺取手を設置すること。
- 48 ポンプ操作灯（2個）  
ボディー左右外側面にポンプ操作灯（LIA-W1又は同等品以上）を設置すること。
- 49 車両バッテリー（1台分）  
車両バッテリーの性能はメーカー標準仕様よりワンランク上のものを取り付けること。また、バッテリーの交換が容易な構造とすること。（協議事項）
- 50 丸型消火栓蓋開け（1本）  
丸型消火栓蓋開け（36型ボール）をボディー右外側面に取り付けること。
- 51 スタンドパイプ（1本）  
引上げ式モンスター10HML-T65A又は同等品以上をボディーに取り付けること。
- 52 ドア反射板（4枚）  
本車両の各ドアを開けたとき、後続車等から視認しやすい場所に反射板を取り付けること。
- 53 リアステップ（1式）  
収容可能な構造とすること。
- 54 バックモニター（1式）  
車両純正品又は同等品以上のものとし、ルームミラーで映像が映し出されるものとする。

- 55 AM/FMラジオ（1式）  
 運転席付近に設置すること。

第7 積載品（固定不要）

1	消防ホース	7	チェーンソー
2	ホースバッグ	8	下肢切創防止保護具
3	安全ベスト	9	照明装置
4	応急手当セット	10	ガソリン携行缶
5	搬送用担架	11	携行ライト
6	爪付ジャッキ		

- 1 消防ホース（10本）
  - (1) 消防ホース（65mm×20m 1.3MPa）は町野式とする。
  - (2) 「購入年西暦」及び「八潮市消防団 第3分団 第2部」を記入すること。  
 （八潮市消防団消防ホース名入れ図参照）
- 2 ホースバッグ（3個）
 

65mmホース3本及び65mmガンタイプノズル1本を収納可能なサイズで、素材は十分な耐久性を有し、手持及び肩かけ両方での携行が可能であること。
- 3 安全ベスト（6着）
 

視認性に優れ着脱が容易であること。
- 4 応急手当セット（1式）
  - (1) トートバッグ（縦35cm×横45cm×幅15cm） 1個
  - (2) 折りたたみ三角巾（大） 15枚
  - (3) 万能ハサミ 1個
  - (4) 非接触式体温計 1個
  - (5) 手首式血圧計 1個
  - (6) レスキューシート 2個
- 5 搬送用担架（3枚）
 

不織布製。NWストレッチャー又は同等品以上
- 6 爪付ジャッキ（1式）
 

E-060L又は同等品以上とし、「八潮団」と記入すること。
- 7 チェーンソー（1式）
 

マキタ社製MUC306DGF（2口急速充電器含む）又は同等品以上
- 8 下肢切創防止保護具（2着）
 

脚カバー（チャップス）JIS T8125-2適合品であること。
- 9 照明装置（1式）

マキタ社製LED投光器ML814と同等品以上（上記7のチェーンソーと共用可能なメーカー純正バッテリー4個及びコンセント2口以上で5m以上の延長コード1本を含む）

10 ガソリン携行缶（1缶）

20リットルガソリン携行缶

11 携行ライト（2個）

ファイヤーバルカンLED米国防爆071F又は同等品以上

## 第8 塗装・記入文字

### 1 塗装

(1) 塗装は特殊化学液にて十分に錆を落とした上、リン酸塩被膜を形成後、プライマーパテ水研ぎサフェーサーを行い熱風乾燥炉にて十分乾燥させ、赤色ハイソリットカラーにて3回以上の吹付けを行い、再び熱風乾燥炉にて十分乾燥させること。

(2) アルミ縞鋼板を張った部分は無塗装とし、地金色とすること。

### 2 記入文字

次の記入文字は、全てカッティングシート製とすること。記入文字の位置、寸法については組合と協議すること。

#### (1) 車体文字

ア 位 置	左右後部ドア
イ 文 字	「八潮市消防団第3分団第2部」
ウ 書 体	丸ゴシック体
エ 文 字 色	白色反射
オ 書 き 方	左書文字（運転席側ナガシ）

#### (2) 標識文字

ア 位 置	散光式警光灯中央部（前後）
イ 文 字	「3-2」
ウ 書 体	丸ゴシック体
エ 文 字 色	黒色
オ 書 き 方	左書文字

#### (3) 背面文字

ア 位 置	背面から見て、後続車両から確認できる位置
イ 文 字	「3-2」
ウ 書 体	丸ゴシック体
エ 文 字 色	反射白文字
オ 書 き 方	左書文字

#### (4) 航空文字

ア 位 置	キャブ屋根外側面
-------	----------

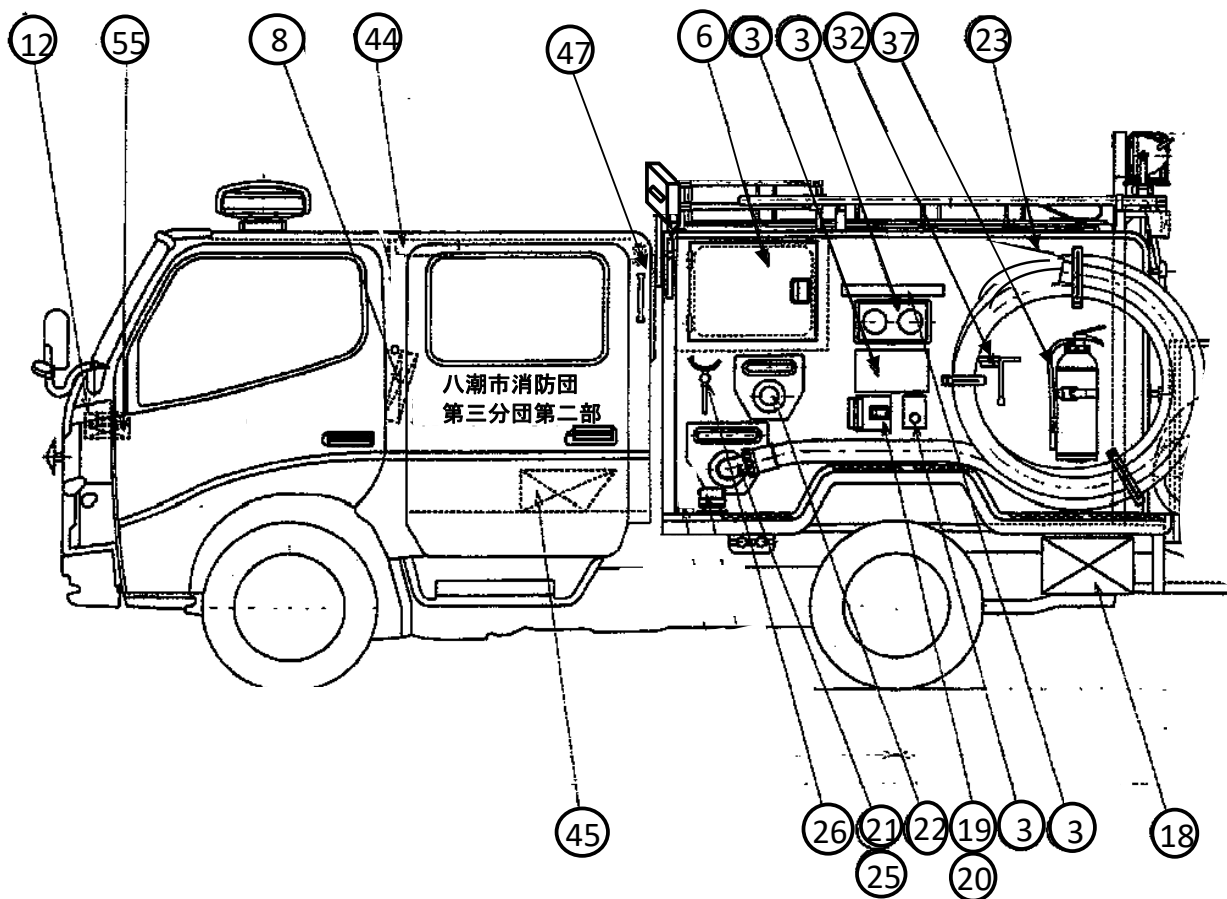
イ	文字	「八潮団 3-2」
ウ	書体	丸ゴシック体
エ	文字色	白色
オ	書き方	左書文字

## 第9 補則

- 1 ナンバーについては、分団部名の数字を取得するよう努力すること。  
(第3分団第2部 → 302)
- 2 納入に際し細部にわたり、清掃、点検、手入れ等を十分行うこと。
- 3 シャシ、エンジン、消防ポンプ、積載品等は全て新品であること。
- 4 全ての燃料タンクは、満タンで納入すること。
- 5 所有者の氏名又は名称 : 草加八潮消防組合  
所有者の住所 : 埼玉県草加市神明二丁目2番2号  
使用の本拠の位置 : 埼玉県八潮市八潮六丁目1番地10
- 6 関東運輸局埼玉運輸支局長の検査に合格し、新規登録手続、車検及び緊急自動車登録を完了した後に納入すること。
- 7 本車両の登録、車庫証明、車検、回送等、納入完了までに要する手続き及び更新対象車両(現3-2)の緊急自動車登録の返納手続並びに更新対象車両と同等の組合が指定する車両(旧1-6)の抹消登録等、廃棄までに要する手続きは、受注者が行うものとする。
- 8 納入後、組合の指定する日時・場所にて、3時間程度、本車両及び積載品の取扱説明会を実施すること。
- 9 艀装における固定器具等の取付位置は、組合及び受注者が細部にわたり協議すること。また、協議後に疑義が生じた場合も組合と調整を図ること。
- 10 その他
  - (1) 業務上知り得た事項を漏らしてはならない。
  - (2) 本仕様について疑義が生じたときは、担当課と協議すること。
  - (3) 不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。
    - ア 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。
    - イ 受注者は、組合及び所轄の警察署(草加警察署)と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。
- 11 問合せ先  
草加八潮消防組合 八潮消防署管理課  
八潮市大字鶴ヶ曾根1185番地  
TEL 048-996-0119  
FAX 048-997-1300

# 車両図面 1

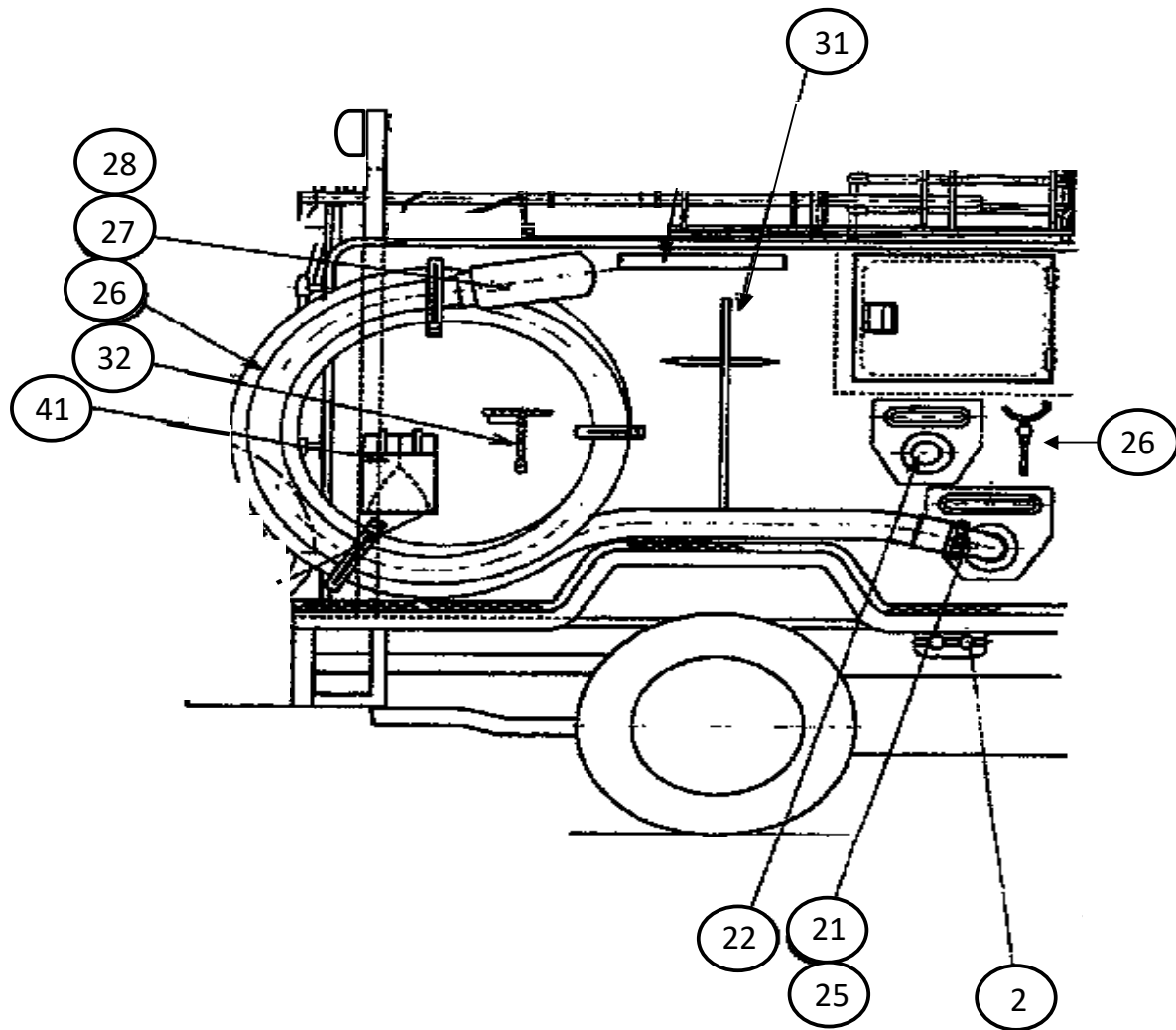
(左側面)



3	消防ポンプ遠隔操作盤
3	圧力計・連成計
3	電子スロットル
3	ポンプ操作灯
6	ボディー収納ボックス
8	前方ヘルメット用フック・A3ボックス
12	拡声装置
18	ポンプ工具用ボックス
19	消防ポンプ用バッテリー充電器 マグネット式コンセント
20	車両用バッテリー充電器 マグネット式コンセント
21	吸水ボールコック
22	吐水ボールコック
23	消火栓取付金具
25	吸水L型エルボ金具
26	吸管スパナ
32	消火栓蓋開け器具
37	自動車用消火器
44	大型蛍光灯
45	座席下収納ボックス
47	手摺取手
55	AM/FM ラジオ

# 車両図面 2

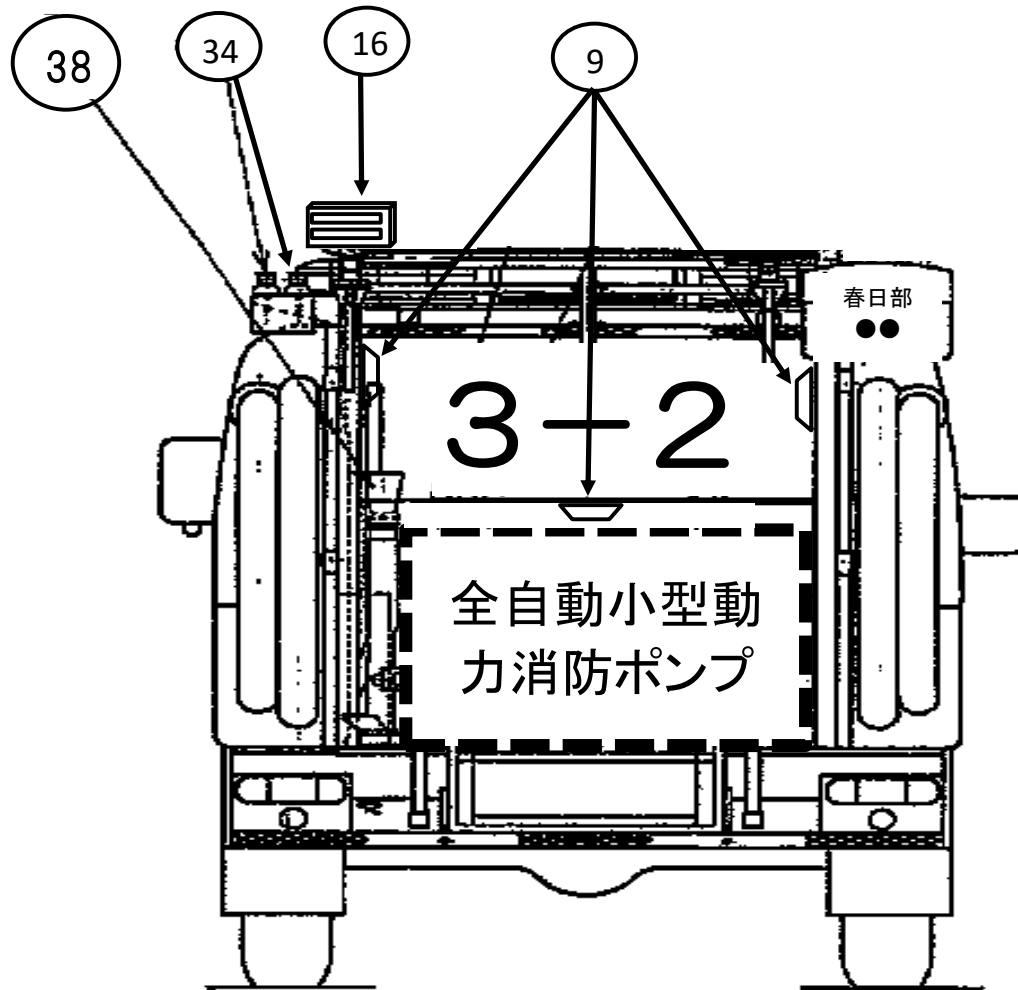
(右側面後部)



2	放水用配管(排水ドレン)
21	吸水ボールコック
22	吐水ボールコック
25	吸水L型エルボ金具
26	吸管
26	吸管スパナ
27	吸管ストレーナー
28	塵除け籠
31	消火栓開閉器具 (スピンドルドライバー)
32	消火栓蓋開け器具
41	車輪止め

# 車両図面3

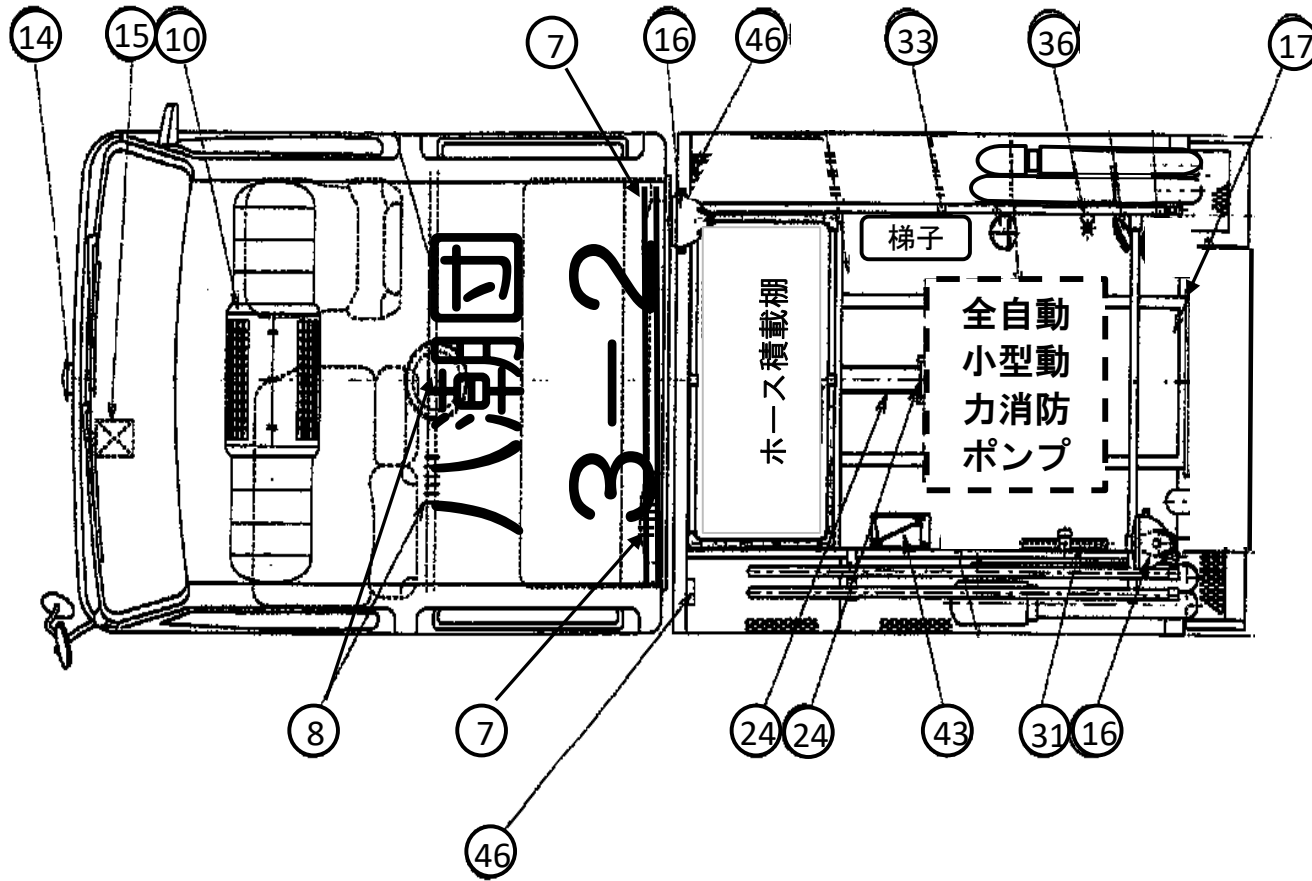
(背面)



9	LED型作業灯
16	サーチライト
34	鳶口
38	管そう(操法用)
※	スタンドパイプの取り付け位置は協議事項とする

# 車両図面4

(上面)



7	後方ヘルメット用フック
8	前方ヘルメット用フック
	A3ボックス
10	散光式警光灯
14	団マーク章
15	デジタル無線機
16	サーチライト
17	消防ポンプ置台
24	吸水フレキホース
	吐水フレキホース
31	消火栓開閉器具 (スピンドルドライバー)
33	梯子
36	金てこ
43	ホースブリッジ
46	折りたたみステップ

# 「八潮市消防団消防ホース名入れ図」

字体：角ゴシック 場所：メス金具側

「表」 「八潮市消防団 第3分団 第2部」



「裏」 「2026」(購入年西暦)

